



つぼみ保育園年報 第14号

2013年(平成25年)7月 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園
〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24
[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780
[E-mail] tsubomi@nifty.com
[HP] http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/

保育の新制度 と 成長戦略 と 既得権益!!

理事長/統括園長 大浦純平

「保育の新制度」と「成長戦略」と「既得権益!!」

一方で四月十九日に安倍首相がアベノミクスの三本の矢の最後となる成長戦略の考え方を明らかにしました。その中で、女性が輝く日本とのテーマで急速な少子高齢化で先細る労働力の一翼を女性たちに担ってもらおうと、女性の活用を柱にした戦略も盛り込まれ、具体策として、待機児童ゼロと、三年間の育児休業などを挙げました。

「待機児童ゼロ」については、かつて待機児童が多かった横浜市を例に出し、株式会社等に保育園を作らせ急激に待機児童を減少させた成果を他都市にも見習ってもらいたいとの趣旨を述べました。このことは政府の規制改革会議が待機児童解消を目的に、認可保育園の面積や保育士配置の基準を緩和し受け入れ数を増やそうとしている経済優先施策の後押しになることは間違いなくでしょう。

次に、三年間の育児休業については、西日本新聞四月二十八日の朝刊には下のようなコラムがありました。

「この成長戦略、女性が輝く日本」の向いづく見え隠れしているのは七月に行われる参議院選挙対策なんだろう。

最近になり新システムに反対の声を挙げてきた我々保育団体に対し、既得権益を守ろうとする圧力団体との論調が耳や目に付くようになりました。成長戦略の後押しをする学者

春秋
2013.4.28

「ねえ、聞いた？育児休業が3年に延長されるぞよ」「首相が提唱したのよね」「赤ちゃんを3年間抱っこし放題、それから復職できるんだって」

▼ある会社での女性社員の話。「子供はたっぷり愛情を注いで育てたいと思っけど」「何だか家庭でしっかり子育てしない、と言われてるみたい」「考え方が古いよねえ。3年休業なら妻と夫が1年半ずつ休める制度にするのが公平でしょ」▼「そもそもそんなに長く休みたい」「ずっと家で育児と家事ばかりだと気がめいりそう」「今、仕事が順調なのよね。中断したくないわ」「1年契約の派遣社員はどうなるの？」「同じ職場の仲間よ」▼「長く休むと仕事に戻りづらくなるかもね。周囲の目も気になりそう」▼「休業中は給料が減ったり、無給になったりするんでしょ。それは困るわ。共働きの場合、苦しいのに子供がでると出費も増えるしね」▼「会社だって長期休業は困るはずよ。特にうちみたいな中小は」「いっそ女性の採用を減らしちゃえ、とならないかしら。それって本末転倒」▼「休業延長より早く保育所を増やしてくれないかな。預け先がなくて仕事を辞めちゃう人も多いのよ」「早急に退社できる長時間勤務制なんかあると、育児との両立も楽なのに」「理想の家庭像もいろいろ、もっと私たちの声を聞いてほしいわ」

マスコミの攻勢です。株式会社への参入は手取り早い待機児童解消策だと思ってるのでしょが、利益優先の姿勢が人を育てる事業に向かないことは自明の理です。小泉政権下で学校の株式会社参入を試みたがやはり「質劣化」で頓挫しています。今でさえ世界的に低レベルと言われている日本の保育・教育の環境基準を経済優先の思想で更に悪くしようという施策には何と云われようかと反対をしていかなければなりません。



創立者

大浦仁子会長を 偲んで

昨年の夏、平成24年8月3日、享年92歳安らかに眠るよう旅立って行かれました。

昭和26年、花ぞの保育園で保育の仕事に関わり、昭和40年につぼみ保育園を昭和45年にさわらび保育園を開設され保育の仕事に半生を捧げてこられました。

私が大浦仁子園長先生と出会ったのは昭和45年の春、保育として大きな夢を抱き第一歩を歩き始めた時、つぼみ保育園の園長先生でした。

その頃の保育園は託児をする施設としか考えられていませんでしたが、仁子園長先生は幼稚園と保育園で過ごす子どもは同じであると幼児教育の大切さをいち早くお感じになり、保育園も保育と教育を重視する必要があるの思いから保育内容の

充実に向けて心血を注いでこられました。幼児教育にかけられる情熱は熱く、特に健康な体をつくる運動および感覚機能を伸ばす音楽教育の



リトミックを保育の中に位置づけられ講師の先生を招くなど、私たち職員にも研鑽を積む機会をたくさんつくってくださり、現在も継承されております。

また、この保育事業一筋に歩いてこられた功績が認められ平成3年に勲六等瑞宝章を授章されました。保護者の皆様や旧職員の皆様も幼児教育者として、あるときは人生の先輩として、あるときは母のように、暖かい大きな心で包み込みこんで

くださっていた仁子園長先生との思い出を色々お持ちだと思います。その後、昭和51年にさわらび保育園へ園長として行かれ、つぼみ保育園では理事長、会長としてのお立場となりました。



「こつね、だいじょうぶかね、頑張らなね」と心にかけてくださり暖かい言葉が今でも聞こえて来るようです。おしゃべり、お酒が大好きで、情が厚く、厳しさの中にもぬくもりがあり、あの凛としたお美しい姿が忘れられません。

平成二十五年度 行事

4月2日	新年度説明会
6日	親子歓迎遠足
20日	おたのしみ会
25日	園児健康診断(2日間)
5月9日	端午の節句おたのしみ会
11日	年長組親子保育
25日	年少組親子保育
6月1日	影絵劇場(一般公開)
13日	おたのしみ会
25日	歯科健診
7月4日	七夕まつりおたのしみ会
12日	お泊まり保育(青組)
13日	保護者ボランティア活動
20日	プール開き
22日	おたのしみ会
29日	おたのしみ会
10月12日	運動会
9月12日	敬老の集い
29日	敬愛セール
11月9日	リトミック発表会
16日	おたのしみ会
21日	おたのしみ会
12月5日	おたのしみ会
8日	輔仁会合同音楽祭
20日	於そびあしんぐう
21日	作品展
25日	もちつき
1月16日	おたのしみ会
1日	年少発表会
3日	豆まき
15日	年長発表会
20日	おたのしみ会
3月3日	桃の節句おたのしみ会
5日	遠足(年長)
12日	遠足(年少)
21日	卒園式
27日	入園式(新園児)

『きょういく』と『かてい』

平成25年度 父母の会 会長
喜多 正貴



はじめまして。今年度より父母の会会長をさせていただきますことになりました喜多正貴と申します。前年度までの3年間会長を誠心誠意務められた檜川さんを始め、昨年度の役員の方々の素晴らしい軌跡を汚さぬよう今年度役員一同邁進していきたい所存でございます。

突然ですが、『きょういく』と聞いてどんなイメージを抱きますか？教育や強育、叫育、凶育、怯育、狂育、恐育、今日育、協育、興育、競育、彊育、驚育、響育……。漢字って不思議なもので、その一文字一文字で何となくイメージが湧くとは思いませんか。私は目指すべき『きょういく』は『共育』でありたいと思っております。

子育ての原点である家庭では、親から子どもへの一方的なおしつけ『きょういく』では、オギャーオギャーと生まれた子どもは、結局ギャーギャー言うだけの大人にしかありません。やはり我々親は、子どもと喜怒哀楽を分かち合い、子どもの心のよりどころになってあげ、こぞぞ！という時は親の威厳を見せ、人生の道しるべとなる。そういった人生の過程を子どもと共に歩ん

でいく『きょういく』であることで、オギャーオギャーと生まれた子どもはオヤー(親-)オヤー(親-)と親を鏡に大人になっていくのではないのでしょうか。

さて、話は変わりますが、本園はいよいよ来年度に五十周年を迎えます。この50年間に携わられた多くの先生方によって、いくつもの洗練された保育課程が生み出されていることに深く感謝しております。またこの50年間の礎を築かれた父母の会の諸先輩方には日々畏敬の念を抱いております。50年間の歴史の重さをひしひしと感じておりますが、最高の先生方と最高の役員メンバーと共に、今年度のスローガンであります“やれるときに、やれる人が、やれることをやる(∩^o^∩)”をもとに、『きょういく』魂で父母の会を盛り上げてまいりたいと思います。

最後になりますが、この「つぼみ」という年報を通して、50年間分の「つぼみ」という絆を深め合うことのできる喜びを噛み締め、50周年記念事業の大成功を約束しつつ、年報の挨拶とかえさせていただきます。

第2つぼみ保育園

4月6日	新年度説明会
20日	親子歓迎遠足
25日	おたのしみ会
6月9日	園児健康診断
25日	端午の節句
7月4日	七夕まつり
10月26日	親子保育(本園にて)
10月26日	園児健康診断
2月3日	豆まき
1日	親子保育
3日	桃の節句
3日	園児健康診断

50周年記念事業に向けて

創立五十周年記念事業

実行委員長 伊集院直親



政治・経済ともに先行き不透明の感もある今日この頃ですが、子ども達に明るい未来が訪れることを切に願いながら日々を過ごしてまいります。皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

1. 平成26年度に50周年記念事業を実施
2. その一環として、平成27年1月11日(日)に創立50周年記念式典を開催する
3. 開催場所は福岡国際会議場とする
4. 記念講演を実施する
5. 法人三ヶ園による合同音楽祭を開催する
6. 周年記念事業には欠かせない柱である寄付金の募集を行う
7. チャリティゴルフ大会を開催する
8. 記念Tシャツを販売する
9. 記念式典開催、寄付金募集を幅広く案内するため、独立した卒園生の名簿整備を行う

さて、かねてよりご案内しております通り、平成25年度につばみ保育園が創立50周年を迎えます。40周年実行委員会よりバトンを引き継ぎ、大きな節目となる50周年を皆で盛大に祝おうと実行委員会を結成しております。昨年から検討が進んだ事項を以下の通りご報告いたします。

課題は山積しておりますが、歴代父母の会長様にご相談しながら検討を進めております。また、平成24年10月20日には40周年以降の父母の会役員の方々を中心にお集まり頂き、拡大実行委員会を開催いたしました。役割分担、決起集会も行い、50周年記念事業に向け団結を確認したところです。

前記しました寄付金の募集、チャリティゴルフ大会開催のご案内、卒園生名簿の整備につきまして別途ご案内いたします。特に寄付金につきましては皆様の

ご協力が必要になって参ります。40周年記念事業では記念品としてログハウスを贈呈し、おやじの会メンバーで組立、設置を行いました。園が改築された後もそのログハウスは移築され活躍しております。50周年は何をお贈りするかの協議中ではありますが、趣旨にご賛同頂き、寄付へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

また、実行委員会として友愛ホールへ出店することも計画しております。収益については周年記念事業積立金に繰り入れる計画です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



S. 59年～H. 22年 S. 45年～S. 58年 S. 40年～S. 44年 H. 23年～現在(正門側園舎)

トピックス

49年目のつばみ保育園。50年の伝統と歴史を受け継ぐ努力をしていることもあれば、時代の流れや変わりゆく環境の中で新たに始めたこともあります。

園舎の変遷

50年の間につばみの園舎は4回増改築され現在に至っています。赤い屋根の木造建物から、床暖房完備の鉄骨コンクリートの建物へと変化してきましたが、この50年間変わらないのは、園庭を元気にかけまわるともたちの笑顔です。

ログハウス

40周年の記念品として寄贈していただいた3棟のログハウスも10年経とうとしています。園舎の建て替えに伴い園庭も新しくなりましたが、移築した3棟のログハウスは今でも健在で、子ども達に大人気です。泥団子やスコップ、お皿パケツなどを持ち寄り、かくれんぼの隠れる場所にしたり、お家ごっこをしたり、子ども達はこのログハウスが大好きです。いつまでもつばみの園庭にシンボルとして引き継いで使っていけるよう大切にしています。



飾り棚

平成23年1月の改築でエントランス横に飾り棚(ニッチ)ができました。それから2年余り、毎月初めに飾りを替えています。平成23年度と24年度は絵本を題材にしたものを制作して飾りました。今年度は「うた」を題材にしています。絵本と違って絵がないので、「うた」の世界観や背景を想像する作業が加わり、制作する職員の感性が問われます。制作には分園や給食室も含めて職員全員が携わり、約2ヶ月前から内容や構成、素材などを考え、試行錯誤しながら作っています。期限に間に合わせますが、出来上がったものを子ども達や保護者の方が楽しそうに見たり、会話したりしている姿が何よりも喜ばれています。



「お皿」作りを目標に取り組んでいます。

陶芸クラブ

敬老の集いのお土産と言えは子ども達の作ったお皿。卒園記念制作も自分で作ったお皿、お皿づくりは、つばみ保育園の伝統です。ところが陶芸をした経験のある職員が少なくなってきました。そこで、経験のある職員の指導のもと、陶芸の自主研修を再開しました。『土こね』から始め、形成、削りを体験しながら自分の「お皿」作りを目標に取り組んでいます。



H25.4月 犬のおまわりさん H23.4月 ぐりとぐら H24.12月 かさじぞう H23.1月 雨の遊園地

平成24年度 つばみ保育園経理区分 決算状況 (単位 千円)		
【 資金収支計算書 】		
経常活動による収支	運営費収入	230,591
	利用料収入	7,633
	その他の経常活動収入	28,619
	経常収入計 (1)	266,345
	人件費支出	168,619
	事務費支出	28,157
	事業費支出	32,813
	その他の経常活動支出	7,680
	経常支出計 (2)	237,269
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	29,076
施設整備等による収支	施設整備等収入計 (4)	0
	施設整備等支出計 (5)	5,173
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲5,173
財務活動等による収支	財務収入計 (7)	0
	財務支出計 (8)	29,000
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲29,000
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		▲5,097
前期末支払資金残高 (11)		14,031
当期末支払資金残高(10)+(11)		8,934

【 貸借対照表 】		
資産	流動資産	29,441
	固定資産	403,485
資産の合計		432,926
負債	流動負債	20,508
	固定負債	3,795
	小計	24,303
純資産	基本金	43,103
	国庫補助金等特別積立金	160,550
	その他の積立金	120,500
	次期繰越活動収支差額	84,470
	小計	408,623
負債及び純資産の合計		432,926

平成25年度 職員構成 (7月1日現在 60名)	
理事長	大浦 純平
園長	大久保 雅子
つばみ保育園	
主任	小島 千枝
副主任	猿渡 健一
もも組	宮川 京子 津田 豊子 吉田 香織 内田 久子 林 郁子 川口 ますみ 清水 淳子 越治 和代 永末 映里 田中 孝子 高松 明美 吉崎 仁美 松本 優美 久保 未由紀 大野 歩 西村 知子 小西 真弓 時津 俊枝 小山 せり香 桜澤 紀子 さくら組 幾度 良恵 高崎 謙 小田 晃子 野口 希世 永尾 弘子 松崎 征子
すみれ組	猿渡 健一
れんげ組	西村 美香 姫野 恵
つくし組	松本 達則
わらび組	阿部 香澄
なずな組	大浦 佳子
年長フリー	小田 彩佳 上野 あすか
栄養士	岩崎 真樹 福島 千春
調理員	河津 和美 岡崎 千代 英原 さやか 渡邊 亜希子
事務主任	大浦 理絵
用務員	中島 涼子
延長専任保育士助手	池田 加代 五島 菫 伊佐 裕美子

平成25年度 父母の役員	
会長	喜多 正貴 (うめ)
副会長	瀧原 茜 (れんげ)
田川 健司 (れんげ)	
会計	庄崎 万梨恵 (もも)
稲留 あすか (すみれ)	
書記	長田 裕子 (わらび)
大野 淳子 (つくし)	
委員	木原 桂子 (もも)
篠原 弘 (うめ)	
浅見 宏亮 (さくら)	
箕 哲弘 (さくら)	
金子 耕一朗 (さくら)	
江崎 裕子 (すみれ)	
古賀 千春 (すみれ)	
金子 真実 (れんげ)	
大久保 学史 (つくし)	
増本 亜由美 (つくし)	
檜山 美佳 (わらび)	
山内 圭 (わらび)	
中河原 健介 (わらび)	
石田 奈留 (なずな)	
宮崎 環 (なずな)	
堀 香 (なずな)	
監査	梅木 孝 (わらび)
大神 希 (つくし)	

第2つばみ保育園(分園)	
分園長	田村 明子
保育士	中北 由里 浦川 華奈美 石丸 あず沙 岡崎 久美子 野田 美和子 光安 佑佳 阿部 俊子 野中 智子
調理員	荒木 亜希子
延長専任保育士助手	永島 遥
管理栄養士	城戸 奈緒(育休中)

寄せられた意見・要望 (社会福祉法の公表義務付けに準拠)

つばみ保育園	受付年月	申出者	受付内容	解決結果
	H. 25. 3	近隣男性	夕方、保護者駐車場が満車になり、路上に順番に並び待っている車が列をつくり道幅が狭くなっているため、三叉路付近で路地から出て曲がろうとした際に車体を壁にこすり傷つけた。	謝罪をし、保護者に注意することを約束する。保護者には新年度説明会の折に詳しく内容を伝え、注意を促した。